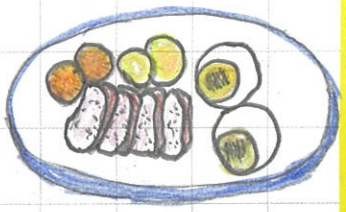
「だったん」
和歌山県環境ポータルサイト
イメージキャラクター

2026わかやまこどもエコチャレンジ
活動レポート

智辯学園和歌山 小学校 4年 名前 坂口 逢佳
※こちらに必ず記入願います。保護者の同意が得られた児童のレポートは、このままの状態でホームページに公開します。

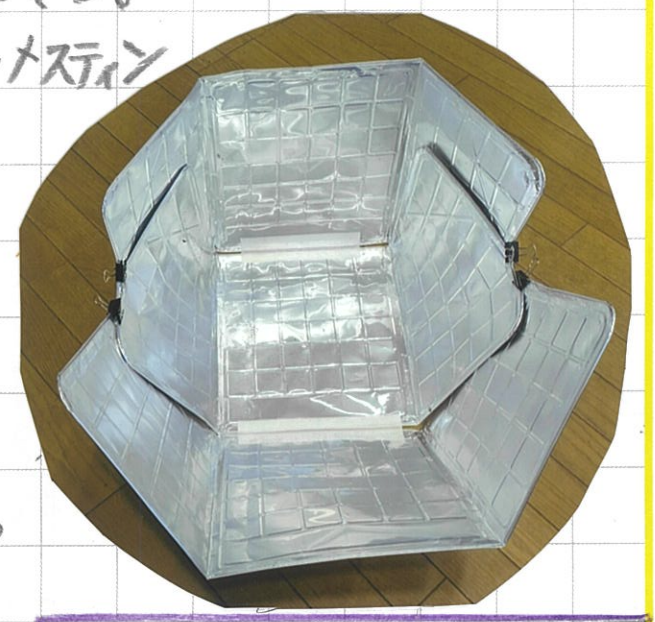
ソーラークッカーで料理をしよう!!



○きっかけ
エコ活動の取組を家族みんなで調べたところ、ソーラークッカーというものを見つけました。ソーラークッカーは電気を使わずに料理をするものです。作ったりソーラークッカーを使って料理できるかどうか実験しました。

○実験方法
①ソーラークッカーを作るためにはアルミパネルを図のように組み立てる。
・ソーラークッカーの材料・アルミパネル(3枚)・クリップ(4こ)・養生テープ・メスティン・クリアポケット(OPP素材)・温度計(1こ)・タッパー(2コ)

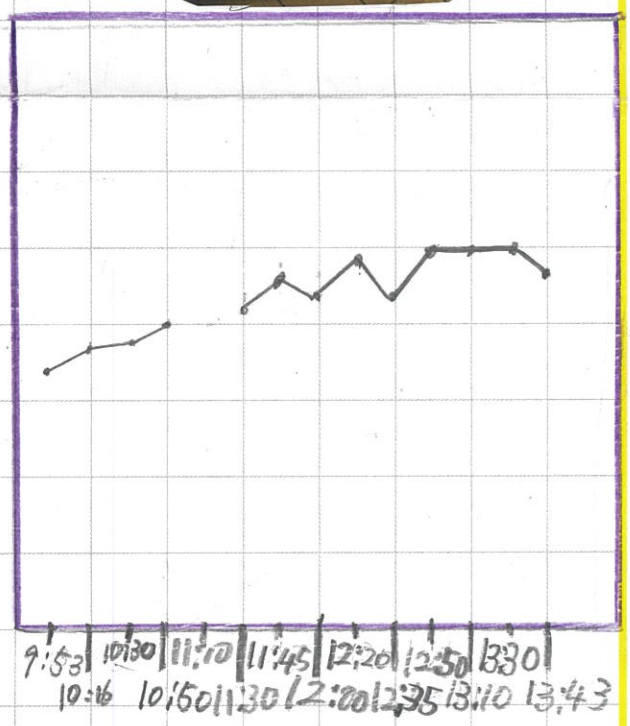
図



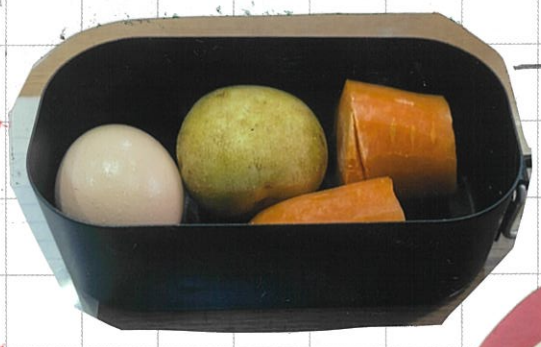
②生卵、じゃがいも、にんじんをメスティンの中に入れる。
③メスティンをクリアポケットに入れて、2つのタッパーではさんでふたをする。
④10分～15分ごとに外へ出て時間とタッパーの上の温度を確認する。
⑤4時間たったら、軍手で外に置いていたものを家に持って帰る。
⑥箱に入っていた卵、じゃがいも、にんじんを切って食べられるかを石確かめる。

○結果(わかったこと)
・生卵はゆで卵になったがちょっとこげた。
・じゃがいもとにんじんはやわらかくて食べられた。
・折れ線グラフが30℃～50℃まで上がっている。
・温度がだんだんと上がっていっている(20分ごとに2℃～4℃上がっている)

回数	時刻	温度
1	9:53	34
2	10:16	36
3	10:30	37
4	10:50	40
5	11:10	
6	11:30	42
7	11:45	46
8	12:00	44
9	12:20	48
10	12:35	44
11	12:50	50
12	13:10	50
13	13:30	50
14	13:43	48



○まとめ
・電気を使わなくても料理ができたこと。
・サツマイモなどちがう食材でもチャレンジしたい。
・みんなで取り組んだことが楽しかった。
・電気を使う量を減らすことができれば、二酸化炭素を減らすことができる。
・今回は卵がちょっとだけこげた感じがしたから、太陽に当てる時間を四時間ではなく、三時間で取り組みたい。



→実験前



実験後←

「だったん」
和歌山県環境ポータルサイト
イメージキャラクター

2026わかやまこどもエコチャレンジ
活動レポート

智辯 小学校 4年 名前 阪口 盤

※こちらに必ず記入願います。保護者の同意が得られた児童のレポートは、このままの状態でホームページに公開します。

SDGs 13 気候変動に対して、使用エネルギーを減らそう！

最近の気候温暖化により、夏の気温が上昇しています。車の運転では、移動するために原油から作られるガソリンが使われますが、夏は車の中の温度が高いので、それを下げるためにエアコンを強くかけなければなりません。このエアコンをかけるのにもガソリンが使われるので、夏はガソリンの使用量が増えてしまい、使用するエネルギーが増えてしまいます。

そこで、車の中の温度を少しでも下げることで、エアコンをかけるためのガソリンの使用量を減らせば、エコにつながるのではないかと考えました。

方法：

右の写真のように、車のフロントにサンシェードという太陽光をさけるものを夜置いて翌朝に、外の気温（車にある気温計）と車の中の温度（デジタル温度計）を計ります。その温度差を、サンシェードの有無で比べます。





結果：

月日	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
サンシェードの有無	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
外気温	28	29	36	36	30	32	34	34
車内温	39	29.3	37.4	34.7	40.2	31	36.5	30.5
温度差	+11	+0.3	+1.4	−1.3	+10.2	−1	+2.5	−3.5

サンシェードなしの温度差（平均）：約＋6.3℃

サンシェードなしの温度差（平均）：約－1.4℃

考察まとめ：サンシェードありの方が、サンシェードなしよりも車内温を約7.7℃も低くすることがわかりました。サンシェードを置くことで、エアコンをつける時間を減らすことができました。少しでも使用エネルギーが減らせたらいいと思いました。